

令和7年度 シラバス

教科名	商業	科目名	ビジネス基礎（１年次）		単位数	2
授業形態	講義形式					
選んでほしい生徒	2・3年生次に商業に関する科目を履修しようと考えている者					
科目の目標	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付け、経済社会の一員としての望ましい心構えやビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を身に付ける。					
身に付けてほしい学力	ビジネスに関する基礎的な知識や技術を習得し、経済社会の一員として望ましい心構えを身に付け、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力や態度を身に付ける。					
学習計画	単元・教材			学習のあらまし		
	【1学期】 1 商業学習のガイダンス 2 ビジネスとコミュニケーション 【2学期】 1 経済と流通の基礎 2 さまざまなビジネス 3 企業活動の基礎 【3学期】 1 ビジネスと売買取引 2 ビジネス計算			・商業を学ぶ目的は何か、どのように学んだらよいか等のガイダンスがあります。 ・経済の仕組みとビジネスの役割は何か、ビジネスはどのように発展しているかについて学びます。 ・企業はどのような種類があるか、経営はどのように行われているか、売買に関する計算等を学びます。 ・企業における資金調達方法や責任について学びます。		
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。		・ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。		・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任を持って取り組もうとしている。	
	上記の観点を踏まえ、総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	1 商業科目の基礎・基本となる科目になります。商業の学び方のガイダンスもあります。2・3年次と商業科目を選択しようと考えている人は、この科目で基本を学んでおくとういでしょう。 2 商業経済検定3級の資格も取得できます。積極的に学習しましょう。					
教材費	問題集・電卓・検定受験料 約10,000円					
その他	学校指定の電卓を購入すること。					

令和 7 年度 シラバス

教科名	商 業	科目名	情報処理（２年次）【L群】	単位数	4
授業形態	講義・実技形式				
選んでほしい生徒	1 パソコンの使い方・知識を学びたいと考えている人。 2 主に表計算ソフトの実習をしていきます。				
科目の目標	ビジネスの諸活動に関する情報を適切に収集、処理し活用する能力と態度を育てる。				
身に付けてほしい学力	1 表計算ソフトウェアが正確に使えるようにする。 2 ビジネス情報の収集・分析ができるようにする。				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【１学期】 1 ビジネスと情報処理 2 表計算ソフトウェアの活用 （１）表計算ソフトの基本操作 （２）関数の利用 （３）グラフの作成 【２学期】 （４）表計算ソフトの応用 （５）情報通信ネットワーク 【３学期】 （６）ビジネスとデータベース （７）金融・証券投資に関する計算		・コンピュータについての基礎知識とコンピュータの基本的な使い方を学びます。 ・表計算ソフトの応用を学んで、発展的な学習もします。 ・表計算を応用して、データベースについて学びます。		
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	・情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。		・ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用することを目指して思考を深め基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。		・情報の収集・処理・分析・表現について関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を活用することを目指して主体的に取り組もうとするとともに、情報を活用する実践的な態度を身に付けている。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、課題や資格取得への取組姿勢、出席状況、授業態度、提出物等を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	1 情報処理の授業はパソコンに関する知識が多くでてきます。覚えることや計算問題もあるので、しっかり問題集を解くことが大切です。 2 パソコンに関する検定は数多くあります。興味があれば上位の資格にどんどん挑戦することもできます。				
教材費	問題集 ３級 約７００円 ２級 約７００円 検定受験料 ３級１，３００円 ２級１，５００円				
その他					

令和7年度 シラバス

教科名	商業	科目名	簿記（2年次K群総合）	単位数	4
授業形態	講義形式				
選んでほしい生徒	就職希望生徒で簿記を選択したいと考えている生徒				
科目の目標	基本的な複式簿記の原理や仕組みを理解し、その記帳技術や方法を習得する。				
身に付けてほしい学力	複式簿記の原理を完全に理解し、「財務会計」や「原価計算」などの学習に発展させながら、日商簿記検定の学習へと理解を深めていく。				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 1 簿記の基礎 （1）資産・負債・純資産及び収益・費用などの意味や記帳方法の習得 （2）仕訳帳と総勘定元帳の記帳方法 （3）試算表 （4）決算の基礎 2 諸取引の記帳 （1）商品売買の記帳 （2）現金・預金・売掛金・買掛金・手形の記帳 【2学期】 （3）その他の債権債務の記帳 （4）資本や税金に関する記帳 【3学期】 （5）決算整理と財務諸表の作成		・簿記に関する基本的な知識や一連の帳簿記入の体系を学習する。 ・企業の経営活動によって発生する、様々な取引の記帳方法について学習する。 ・各種取引の仕訳と転記、勘定科目の明細を示す帳簿について学習する。 ・決算整理と報告書としての損益計算書、貸借対照表の作成について学習する。		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・簿記に関する基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、その基本的な仕組みを理解し、適正な会計を行うことを合理的に計画し、その技術を適正に活用している。	・適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	・簿記について関心を持ち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。		
	上記の観点を踏まえ、総合的に判断して評価する。				
学習のアドバイス	高校に入って初めて学ぶ科目です。授業中の先生の説明を聞き、反復練習することで理解が深まり、定着します。休まず授業に出席して、家庭での復習もしっかりしましょう。課題も頻繁にありますから、必ず提出しましょう。				
教材費	問題集 約700円 検定代金1,600円				
その他	1月の全商検定(3級・2級)を受験すること。				

令和7年度 シラバス

教科名	商業	科目名	課題研究 (2年次J 2群総合)	単位数	2
授業形態	講義形式				
選んでほしい生徒	商業関係の資格取得を目指している生徒				
科目の目標	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
身に付けてほしい学力	商業関係の資格取得とビジネスで実践できる実務能力				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 1 全商ビジネス計算実務検定 2 全商ビジネス文書検定 【2学期】 1 全商ビジネス計算実務検定 2 全商ビジネス文書検定 【3学期】 1 全商ビジネス計算実務検定 2 全商ビジネス文書検定		・3級に挑戦する。 ・検定に挑戦するとともに、ビジネスにおける計算能力を鍛える。 ・2級に挑戦する。 ・1級に挑戦することのできる知識と技術を身につけ、生涯に渡って自らの力を伸ばすことのできる土台を培う。		
評価の観点・ 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・課題研究に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけ、課題研究の意義や役割を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	・各自の課題を合理的に研究し思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、研究に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につける。	・各自の課題に関心を持ち、計画的、合理的に研究することを目指して主体的に取り組むとともに研究成果の実践力を身につける。		
	上記の観点を踏まえ、総合的に判断して評価する。				
学習の アドバイス	卒業後、新しい生活の出発にあたって、少しでもスムーズに社会人になれるように、ビジネススキルの向上に努めていきましょう。				
教材費	1 全商ビジネス計算実務検定受験料 普通計算1, 300円、ビジネス計算1, 300円 2 全商ビジネス文書検定受験料 速度各級1, 100円、文書3級1, 200円、2級1, 400円、1級1, 500円				
その他	全商ビジネス計算実務検定、全商ビジネス文書検定を受験すること。				

令和 7 年度 シラバス

教科名	商業	科目名	ビジネスコミュニケーション (2 年次 J 1 群総合)		単位数	2
授業形態	講義形式					
選んでほしい生徒	就職希望生徒で簿記を選択したいと考えている生徒					
科目の目標	1 ビジネスの場における社会人としての心構え、言葉遣いと、接遇マナーなどの知識と実践的な対応能力を身につけさせる。 2 ビジネスコミュニケーション検定試験にも積極的に取り組んでいく。					
身に付けてほしい学力	企業人としての必要な知識、マナーの向上、人間関係などについての意識を高めるとともに、資質の向上を目指す。					
学習計画	単元・教材		学習のあらまし			
	【1 学期】 第1 編 ビジネスとコミュニケーション 第2 編 ビジネスマナー 【2 学期】 第3 編 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション 【3 学期】 第4 編 ビジネスと外国語		・ 学生と社会人の違いを理解する。 ・ 基本的な仕事の内容を理解し、その知識と技術を学習する。			
評価の観点・ 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	・実際のビジネスにおけるコミュニケーションと関連付け、ビジネスの様々な場面で役に立つコミュニケーションに関する知識と技術を身につけている。	・ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見するとともに、コミュニケーションに関する理論、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている。		・自らコミュニケーションについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にビジネスにおいて日本語や外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養っている。		
	上記の観点を踏まえ、総合的に判断して評価する。					
学習の アドバイス	卒業後、新しい生活の出発にあたって、少しでもスムーズに社会人になれるように、ビジネスのマナーを学習したいと思います。					
教材費	問題集 約7 0 0 円 検定代金1, 3 0 0 円					
その他						

令和7年度 シラバス

教科名	商 業	科目名	マーケティング（2年次）	単位数	3
授業形態	講義形式と実習（マーケティング実習）				
選んでほしい生徒	アメリカで発祥したマーケティング理論に興味・関心が特に強い人。				
科目の目標	生活の中で展開されている、さまざまなマーケティングを理解し、社会の動きを敏感に感じ取る力を養う。また、検定試験にもチャレンジする。				
身に付けてほしい学力	マーケティング理論の歴史が、とても新しいので、その時代その時代のマーケティング理論の変遷を理解していく。				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 1 マーケティングの歴史と発展 2 現代の市場とマーケティング 3 マーケティング環境の分析 4 マーケティング・マネジメント 【2学期】 1 販売価格〔ブラッシング〕 2 販売経路〔マーケティングチャネル〕 3 販売促進〔セールスプロモーション〕 4 顧客満足の実現 【3学期】 「マーケティング」を学習した後の商業経済検定試験対策 グループワーク		・マーケティングの発展過程と理念の変遷について学習する。 ・マーケティング活動の手順に基づいて、マーケティングの理論を学習する。 ・時代の変化や市場環境の変化の中で、顧客ニーズを満たすマーケティング理論の重要性について学習する。		
	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価の観点・評価方法	企業における事例など実際のマーケティングと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識と技術を身に付けている。	唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、マーケティングをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、マーケティングに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、マーケティングに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマーケティングについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、市場調査の実施と情報の分析、製品政策、価格政策、チャネル政策、プロモーション政策の企画と実施などに責任をもって取り組んでいる。		
	上記の観点を踏まえ、定期考査、提出物、授業態度、出席状況等を以上を総合的に判断して評価する。				
学習のアドバイス	1 「ビジネス基礎」などの学習とも連携しているため、学びが深まっていく。 2 就職や資格取得に有利である。マーケティング用語は、英語表記とカタカナの両方から認識・理解することができる。				
教材費	問題集 約550円 検定受験料 1,300円				
その他	2月の全商商業経済検定（マーケティング）を受験すること。				

令和 7 年度 シラバス

教科名	商業	科目名	ビジネス法規（3年次）		単位数	3
授業形態	講義形式					
選んでほしい生徒	民法や商法の二大基本法を中心に、各法に興味・関心がある人。					
科目の目標	現実の社会生活に必要な法規に関する知識を習得し、経済社会における法の意義とその役割について理解するとともに、経済事象を法律的に考え、判断する能力と態度を育てる					
身に付けてほしい学力	権利・義務の主体及び客体を扱うとともに、物とサービスについての権利・義務について理解する。さらに、契約による財産権の成立と消滅及びその保護を取り扱い、起業家教育の相関を考慮しながら、社会の変化に対応するよう学習する。					
学習計画	単元・教材			学習のあらまし		
	【1学期】 1 法の概要 2 権利・義務と財産権 3 財産権の変動 【2学期】 4 企業活動と法規 5 企業責任と法規 【3学期】 6 紛争の解決と予防			法の分類・効力・適用と解釈など法を学ぶための基本的なことがらを学習する。生活を支える財産権について理解を深めていく。 市民生活を送るうえで欠くことのできない法律知識を学習する。 企業活動のルールや株式会社について、法律面から理解し、身近なものとして感じ取る。		
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・新聞記事などを通して経済生活や市民生活が「法化社会」でどのように扱われ、条文と相関できるか具体的に捉えることができるか。		・ある事象の解釈について、また条文についてなどの生成過程や立法の趣旨を論理的に思考し、どう判断し捉えることができているか。		・経済生活や我々の市民生活が安定的に営まれることは、法の存在による「法化社会」であるから、法の知識、法的思考が生活上必須のことであることに興味を持ち、意欲的に学習しようとするか。	
	上記の観点を踏まえ、定期考査、提出物、授業態度、出席状況等を以上を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	1 商業経済検定試験2級をこの科目で、受験することができます。 2 我々の生活は法律関係で成り立っている。この科目の学習を通して、「法化社会」のあり方を修得できる。					
教材費	補助教材約 700 円 検定受験料 1,300 円					
その他	特になし					

令和7年度 シラバス

教科名	商業	科目名	原価計算（3年次）	単位数	4
授業形態	講義形式				
選んでほしい生徒	簿記を履修したもしくは履修している人				
科目の目標	製造業における原価計算および簿記に関する基本的な知識と技術を習得し、原価について理解するとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を習得する。				
身に付けてほしい学力	原価計算の基本的な考え方と計算方法および工業簿記の基本的な記帳方法を習得する。原価計算の役割や資料の有効な活用について理解する。				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 1 工業簿記と原価計算 2 原価の費目別計算 3 原価の部門別計算 4 個別原価計算		・原価計算の基本的な事項、製品の製造原価を計算するための第1手続きとしての費目別計算を学習する。		
	【2学期】 5 総合原価計算 6 工程別総合原価計算 7 製品の完成と販売 8 原価情報の活用		・第2、第3手続きとしての部門別計算と製品別計算の記帳方法を学習する。 ・製造業の決算について、報告書の作成方法を学習する。		
	【3学期】 9 記帳練習問題 10 形式別復習問題		・原価情報の活用に関する基礎的な知識と技術を習得する。		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。	・各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、なぜ、そのように行うかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。	・製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに原価計算から得られる情報を活用する態度を身に付けている。		
	上記の観点を踏まえ、定期考査、課題や資格取得への取組姿勢、出席状況、授業態度、提出物等を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	1 休まず授業に出席して、家庭での復習もしっかりしましょう。課題も頻繁にありますから、必ず提出しよう。 2 検定試験で合格すると全商簿記検定1級「原価計算」の資格が取得できます。積極的に挑戦し、高校卒業後の進路にも役立てよう。				
教材費	問題集 約700円 検定受験料 1,300円				
その他	1月の全商簿記検定（原価計算）を受験すること。				

令和7年度 シラバス

教科名	商業	科目名	財務会計Ⅰ（3年次） 【(V群)】		単位数	4
授業形態	講義形式					
選んでほしい生徒	簿記を履修している者。簿記による大学進学希望者は履修のこと。					
科目の目標	財務諸表の作成やこれを分析し活用するための能力や、効果的な経営活動に役立てる能力と態度を養う。					
身に付けてほしい学力	会計制度や財務諸表を理解し、財務諸表の作成方法や見方を身に付け、将来、実社会で活躍できる素地となる能力。					
学習計画	単元・教材		学習のあらまし			
	【1学期】 1 会計の基礎 2 貸借対照表 ・資産 【2学期】 ・負債・純資産 ・貸借対照表の作成 3 損益計算書 ・収益・費用 【3学期】 ・損益計算書の作成 4 財務諸表の作成・活用		・会計の意味と目的を明らかにするとともに会計がどのような規則や制度にもとづいて行われているのかについて学習する。 ・貸借対照表に記載される内容の分類、記帳、評価について学習する。 ・損益計算書に記載される内容の分類、記帳方法について学習する。 ・企業経営の社会的責任の意味を学習し、財務諸表分析の意味・方法を学習する。			
評価の観点・ 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	・株式会社の会計に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理するとともに、その成果を適切に表現する。	・処理法や記帳法、財務諸表の作成方法について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	・株式会社の会計に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、企業会計の基本的な理論及び財務諸表の作成方法について理解している。			
	上記の観点を踏まえ、定期考査、提出物、授業態度、出席状況等を以上を総合的に判断して評価する。					
学習の アドバイス	1 全商簿記検定1級（会計）の資格が取得できます。自分のやる気次第で上級を目指すことができますから、目標を持って学習し、卒業後の進路にも役立てましょう。 2 企業会計に関する記帳能力を養い、財務諸表のしくみについて理解を深めるとともに、将来の経済社会をになう有益な人材になれるよう目標を持って学習しましょう。					
教材費	問題集 約700円 検定受験料 1,600円					
その他	1月の全商簿記検定（会計）を受験すること。					

令和7年度 シラバス

教科名	商 業	科目名	ソフトウェア活用 （3年次）	単位数	4
授業形態	講義形式＋実習（表形式のデータやグラフの作成）				
選んでほしい生徒	前年度に「情報処理」を履修し、ビジネスに関する様々なデータを効果的に活用する知識や技術を身に付けたい人。				
科目の目標	ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して、管理・分析・活用する知識や技術を習得し、エンドユーザコンピューティングを積極的に推進する創造的な能力と態度を育てる。				
身に付けてほしい学力	1 表計算ソフトウェアの効果的な活用方法。 2 データや数字を読む力である、計数的能力。 3 データベースを利用して、ビジネスに関する各種のデータを合理的に蓄積する方法。				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 1 ビジネスと情報 2 情報通信ネットワークの活用 3 表計算ソフトウェアの活用 【2学期】 4 データベースソフトウェアの活用 【3学期】 5 ソフトウェアを活用したシステム開発		・ビジネスにおける情報化の推進に関する基本的な知識を習得する。 ・表計算ソフトウェアを用いてさまざまなビジネス情報を分析し活用するための知識、技術を身に付ける。 ・表計算ソフトウェアのマクロ機能を用いて、日常の業務を自動化するための知識、技術を習得する。 ・リレーショナル型データベースを作成し活用するための、知識、技術を習得する。 ・ビジネス情報システム開発に関する基本的な知識と技術を習得する。 ・ネットワーク環境における情報機器の導入と管理に関する基礎的な知識と技術を習得する。		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析、システムの開発、ネットワークの構築などの技能を身に付けている。	・適切な手段を用いて情報を収集・処理したり、要求に応じた適切なシステムを開発するなどの思考・判断力を身に付けている。		・ビジネスの諸活動において、情報を主体的、積極的に活用しようとする意欲と態度を持っている。	
	上記の観点を踏まえ、定期考査、提出物、授業態度、出席状況等を以上を総合的に判断して評価する。				
学習のアドバイス	1 各アプリケーションソフトウェア(表計算・データベース)を利用しながらの学習なので、パソコンの操作に慣れましょう。 2 総合的な実習問題は、各単元や総まとめ確認の実習となるので、提出期限を守って忘れないように提出しましょう。				
教材費	問題集 約1,600円 検定受験料 1,800円				
その他	特になし				

令和7年度 シラバス

教科名	商業	科目名	課題研究（3年次）	単位数	2
授業形態	講義形式&実習形式				
選んでほしい生徒	商業関係の資格取得を目指している生徒				
科目の目標	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
身に付けてほしい学力	商業関係の資格取得とビジネスで実践できる実務能力				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	【1学期】 1 全商ビジネス計算実務検定 2 全商ビジネス文書検定		・3級に挑戦する。 ・検定に挑戦するとともに、ビジネスにおける計算能力を鍛える。		
	【2学期】 3 全商ビジネス計算実務検定 4 全商ビジネス文書検定		・2級に挑戦する。		
	【3学期】 5 全商ビジネス計算実務検定 6 全商ビジネス文書検定		・1級に挑戦することのできる知識と技術を身に付け、生涯にわたって自らの力を伸ばすことのできる土台を培う。		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・課題研究に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、課題研究の意義や役割について理解している。	・各自の課題を合理的に研究し思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、研究に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付ける。	・各自の課題に関心を持ち、計画的、合理的に研究することを目指して主体的に取り組むと共に研究成果の実践力を身に付ける。		
	上記の観点を踏まえ、定期考査、提出物、授業態度、出席状況等を総合的に判断して評価する。				
学習のアドバイス	1 授業中の先生の説明を聞き、反復練習することで理解が深まり、定着します。休まず授業に出席して、家庭での復習もしっかりしましょう。課題も頻繁にありますから、必ず提出しましょう。 2 全商ビジネス計算実務検定、全商ビジネス文書検定の資格が取得できます。さらに、習熟度に応じて級も取得できます。自分のやる気次第で上級を目指すことができるので、目標を持って学習し、卒業後の進路にも役立てよう。				
教材費	1 全商ビジネス計算実務検定受験料 普通計算1, 3000円、 ビジネス計算1, 300円 2 全商ビジネス文書検定受験料 速度各級1, 100円、文書3級1, 200円、2級1, 400円、1級1, 500円				
その他	全商ビジネス計算実務検定、全商ビジネス文書検定を受験すること。				